

令和5年度 沼木敬寿園 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

- ◆外部評価
事業所自己評価 (事①～⑨)
- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 15日(19:30 ~ 21:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	4人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議前に管理者・リーダー・サブリーダーで話す時間を作り、新規利用者の情報を共有し職員へ伝達していく。 ・初期支援シートの作成を継続し、担当者を定めて確実に情報を収集できるようにする。翌月のユニット会議で評価や振り返りの機会を設けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援シートを活用し、情報を集め共有しながら初期支援できるように努めた。記入後のケアへの反映の仕方や職員毎の理解や取り組みのバラツキもまだ感じられ、今後も課題として取り組んでいく。 ・新規利用者の情報については、書面や申し送り等での伝達の他、利用開始の事前の話合い等を通して、職員へ周知できるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	2	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5	4	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、リーダー、サブリーダーが事前にミーティングを行い職員に分かるように伝達してくれている。 ・初期支援シートを活用し情報や申し送り等で確認することができた。 ・関係づくりのための声掛けをし、普段の生活の様子を聞く事ができた。 ・利用者が来園した際は、笑顔で声掛けし楽しい1日が過ごせるように努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援シートをユニット会議で取り上げることが出来なかった。 ・家族、介護者の細部にわたる情報を把握することが難しい。 ・初期支援シートの記入が充分でなく、振り返りについても改善が必要。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援シートの作成や活用を継続していく。内容や振り返りをしっかりと行い、その後の継続的な支援に繋げていく。 ・初期段階での本人や家族のニーズや不安などについて、しっかりと把握・共有し支援に反映させていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	4 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・モニタリング会議を継続し、一人ひとりのニーズや課題について話し合い取り組んでいく。
- ・利用者の「～したい」を大切にし、選択できる環境を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・モニタリング会議を実施し、ひとり 1 人の現状や課題について話し合う機会を持つことが出来た。会議の検討結果や支援方法の変更など、職員へ周知し共有できるまでに時間がかかってしまう事もあった。
- ・外出や嗜好など、アンケートを取ったり、候補の中から選んでもらうなど出来る限り選択できる環境を作る機会を作った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	6	5	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	9	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	8	3	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	4	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・モニタリング会議で課題について良く話されていると思う。
- ・毎月モニタリング会議を実施し、利用者一人一人について考えることができた。
- ・日々の変化や関わりの中で得た情報を報告し話し合った。
- ・本人との関わりの中で、本人の希望や不安があれば耳を傾け対応できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・毎月同じ職員が会議やモニタリング会議に参加するわけではないため、前月に検討した件について振り返りが不十分であった。
- ・各担当の理解度や取り組みには、まだまだ偏りがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・モニタリングについて、各担当者が画一的に実施できるように取り組んでいく。
- ・日常の場面やレクリエーション活動など、利用者が選択し楽しめる環境作りを心掛けていく。
- ・「～したい」を大切に、個別での関りやレクリエーション活動の機会を増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・モニタリング会議に合わせて、情報シートの作成を進めていく。
- ・「以前の暮らしシート」は担当の職員が聞き取りを行いながら段階的に完成を目指していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者や家族の状況やニーズの変化に寄り添いながら対応するように心掛けた。日常のミーティングや会議などで、利用者毎の課題や対応の検討機会が増え、変化や気づきをより共有しやすい環境が出来てきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	8	5	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	5	5	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	8	1	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の状態に併せて対応の検討、変更しよりよい生活を送れるように工夫することができた。管理者やケアマネと相談を密にできたと思う。
- ・ちょっとした変化でも決めつけずに「もしかして?」と発信してくれる職員も増えてきている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・以前の暮らしシートの作成に時間が掛かり、更新や完成に至らないケースがあった。業務内での対応や作成がなかなか難しい。
- ・変化に対しての対応について、ワンテンポ遅くなってしまう場面もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・継続してモニタリング会議の頻度に合わせて「以前の暮らしシート」の更新を重ねながら、情報の精度を高めていく。
- ・ちょっとした気づきでも発信する習慣を作り、利用者のサービスや日々のケアに反映させていけるよう努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の勉強会を実施する。実際に利用されている利用者をモデルにして、どのような地域資源を活用しているのかを学ぶ。 ケアマネジャーの訪問時に自宅での過ごし方についての情報の聞き取りをしてもらい情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源について勉強会や自己学習だけでは、なかなか理解を深めるレベルまでには至っていないと感じている。外部研修なども企画されているものがあれば参加し理解を深めていきたい。 ケアマネジャーが訪問時に自宅での様子を聞き取りしてくれており、また得たい情報については事前に依頼するなど連携を図るなどして、情報の量は増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	3	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	10	2	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	4	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	6	6	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーが毎月の訪問時に自宅での様子等を聴き取りしてくれるため、多くの情報を得ることができている。 利用日ではない日にどのように過ごしているか入浴時間の 1 対 1 の関わりの中で、最近の様子を伺い把握することができた。 地域の事や出来事などを話題の中に織り交ぜながら、関心が薄れないように関わりをもった。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の自宅での生活を支える地域の方々については、独居の利用者については把握しているが家族と同居されている方については把握出来ていない。 地域資源についての学びの機会が少なく、十分な理解を得られたとは言えない部分もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源については勉強会のほか、研修や外部での勉強会などに積極的に参加していく。 自宅での過ごし方や生活歴などの情報をケアに反映できるように取り組んでいく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・今後も柔軟なサービス提供やケアの対応を心掛けながら、事業所の特性や強みとして取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・その日、その時の状況やニーズに合わせて、職員間での情報の共有を図りながら、サービス変更や追加を行い、柔軟に対応出来ている。 ・地域の方の見守り協力体制があったり、必要時には民生委員や福祉協力員の方と連携を図り対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	10	1	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	10	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	9	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	9	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・通いや訪問に囚われず、本人の心身状態によって臨機応変に対応出来ている。 ・小規模多機能の強みを活かしながらも、訪問看護や地域包括支援センター等との連携を取り自宅で不安なく生活できるよう支援できている。 ・その日の利用者の状態やニーズに応じて、通い、訪問、宿泊が提供されている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・気づきや変化に対して記録として残っておらず共有できるまでに時間が掛かってしまう事がある。 ・定員もあるため、必ずしもニーズの全てを入れる事は難しいが、代替え案を提示したりして、全くサービスを提供できない状況にはならないようにしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・柔軟なサービス提供や対応の事業所特性を活かしながら、より良いサービスの提供に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

6. 連携・協働

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	6 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 今後も感染対策を講じながら、出来るだけ地域との関わりの機会や会議などへの参加を継続していく。より多くの職員が参加できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェや地域のサロン活動などへの講師派遣など、昨年度よりも参加機会を得ることが出来た。地区の催し物への参加やボランティアの受け入れなどの交流機会も段階的に増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	7	4	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	8	3	0	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	8	4	0	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	10	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自治体や地域包括支援センターとの会議に、ケアマネや管理者が参加している。 担当者会議の参加、福祉用具の相談導入などを通して、他サービス機関と関わる機会があった。 今年度は数年ぶりに子ども神輿が来園してくれたり、地区の文化際にも参加できた。 地区の消防訓練や清掃活動、サロンなどにも参加している。お祭りで地域のバンドの方が演奏してくださった。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 会議などへ参加している職員がまだ限られており、多くなるまでには至っていない。 100 歳体操はまだ再開できていない。ボランティアの受け入れは段階的に再開しているが、以前の様に地域の方が参加するまでは難しい。 自治体や地域の会議の内容について知りたいが、情報が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じながら、地域行事への参加や外出支援などを通して地域交流を図る機会を増やしていく。 SNS や広報誌などを通して施設や事業所の活動などを知っていただける工夫をし発信していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

7. 運営

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・管理者やリーダーとの面談を行い、職員ひとり一人の思いを大切にしていく。・どのような事業所を作っていきたいのかを皆で考え、理念や目標を掲げて取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・事業所の目標を定め、1年間を通して取り組む事が出来た。目標に対する取組みに対して、具体的な話し合いや振り返りをする機会が少なかった。・地域との防災協定や防災訓練など有事に備えて取組みを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	5	6	3	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8	2	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	6	3	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	7	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ユニット目標を掲げて、意識して取り組むことができた。・利用者、家族の意見や要望、苦情等にはすぐ対応するようにこころ掛けている。・地域の防災協定や町内会にも入っている。運営推進会議で事業所の情報を公表し、有識者より講評や意見をいただき運営に活かしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・管理者やリーダーとの面談回数や方法について、定期的に取り入れて欲しい。・事業所の在り方やユニット目標について、より深く皆で考えていく必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・計画的に管理者やリーダーとの面談を取り入れていく。・事業所の目標について、定期的な振り返りと評価を行いながら、皆で目標に向かって取り組んでいける体制を目指していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	5 人	0 人	14 人
前回の改善計画		・事前に研修案内を提示・回覧し、各々が希望する研修に参加しやすい体制を作っていく。 ・ユニット会議での勉強会を充実させていく。				
前回の改善計画に対する取組み結果		・研修参加希望を募り、年度の研修計画に反映させている。 ・ユニット会議でのケアマニュアルの再確認を行い、基本的な介護や知識についての振り返りを行った。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	7	4	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	8	3	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	8	4	0	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	10	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場内の内部研修に参加し知識を深める事が出来た。 ・研修参加希望を取り入れ、研修に関しての意識は高まった。 ・ヒヤリハットを提出し、事故喚起や事前の対策することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・感染対策中の内部研修は動画や資料研修が主になっており、理解がなかなか深まらない内容もあった。 ・ユニット会議内で話し合う議題が多く、勉強会の時間が十分に取れていない。 ・職員間でリスクマネジメントの意識に差があるように感じる。事故防止対策を立て実践してからも定期的な確認や修正をしていかないといけないと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・積極的に内部研修や外部研修へ参加し、自己研鑽に取り組める環境作りを心掛ける。 ・リスクマネジメントについて、委員を中心に目標を定めて取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 15 日 (19:30 ~ 21:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	6 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・職員の言動や対応が利用者のプライバシーを侵していないか、日々振り返りや確認をしていく。
- ・センサーマットや人感センサーなどを使用する根拠や目的を職員がしっかりと理解していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・センサーマットの必要性や解除の可否について、定期的に話しする機会を作る事で少しずつ意識は高まってきている。
- ・職員の言葉かけや対応について、グリーゾーンの認識にまだバラつきがある。また、認知症ケアの知識や技術の向上に努めていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	0	0	14
②	虐待は行われていない	8	6	0	0	14
③	プライバシーが守られている	7	7	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	6	3	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	2	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の安全と心地よく過ごしていただけるよう配慮している。
- ・センサーマットや人感センサーが適切に使用されている。
- ・身体拘束、虐待、プライバシー保護に関して研修等を通して、理解を深め実践できている。
- ・年に 2 回、自分や他職員の対応についての自己点検シートに取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・排泄や認知症の方への対応で、却って注目を浴びてしまうような対応をしている場面がある。
- ・身体拘束、虐待についてはグリーゾーンもあり、職員の意識や理解にまだバラツキがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・グリーゾーンへの共通理解を図る為、対応や事例に迷った時は会議やミーティング、委員会等で話し合う機会を作る。
- ・認知症について、内部・外部研修へ参加して理解を深め、日常のケアに反映させていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 敬寿会	代表者	山口まゆみ	法人・ 事業所 の特徴	沼木敬寿園では「その人らしく」を大事にし、利用者様の住み慣れた地域、事業所のある地域の中で安心して生活が送れるよう支援を心掛けています。利用者様の自立支援に向けてできる能力を引き出し、可能性を大事にし、一人ひとりの想いやペースを尊重しながら家庭的な雰囲気の中で自分らしく過ごせることを大切にしていきます。
事業所名	沼木敬寿園	管理者	高橋大介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	1人	1人	0人	6人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・年初に集まっての勉強会を実施する。異動職員や新規職員へもオリエンテーションなどを通して、理解を深めていく。外部評価の取り組みの理解を深め、実践する力を高める事で、自己評価のレベルアップを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年初に資料を配布し、職員へ外部評価に対する意識啓発を行った。新人職員や中途職員に対してはオリエンテーションを活用し、説明を行ったが初めての職員が多く、理解を深めるまでには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深めていくにはある程度の経験年数が必要だと思うが、職員によって対応に違いがあってはいけないと思う。職員教育を最優先に考え、職員間でのコミュニケーションをより良くなる工夫をしながら理解を重ねて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや勉強会のほか、毎月の職員会議の中で、外部評価に関する項目について、話し合いや検討する機会を作り、取り組みへの意識向上と理解促進を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安心して安全に生活できる環境作りや設え作りを行ないながら、役割や楽しみ作りへつなげていく。 ・職員の挨拶習慣の継続や指導のほか、接遇に対しても意識を高め取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の植物や野菜の栽培に力を入れ、水やりや栽培状況の確認など楽しみや役割作りを心掛け取り組むことが出来た。 ・年間の事業所目標を「笑顔」に定め、職員・利用者・家族が笑顔で過ごせる事業所を目指し取り組んだ。挨拶習慣や接遇マナーを大切に安全・安心に過ごせるよう環境作りに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」から「おやすみ」まで笑顔で過ごせたら心穏やかになると思う。野菜の収穫や栽培の喜びが笑顔を作っているのを写真を見て感じた。それが利用者やご家族の安心感にもつながっていると思うので、今後も継続して行ってください。 ・以前よりも進んで挨拶する職員が減ってきたように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「笑顔」を大切に心のこもったサービスの提供を目指していく。 ・野菜や植物に触れる機会をつくり、役割や楽しみを持って利用できる環境を目指していく。 ・挨拶習慣や接遇マナーを大切に、明るく安心感のある雰囲気作りに取り組んでいく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策を継続しながらも、季節行事や地域行事に参加する機会を段階的に増やせるよう取り組んでいく。 ・参加が難しい状況でも地域の事を利用者に知ったり、感じてもらう工夫を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供神輿やはつらつサロン、文化祭、認知症カフェなど限定的ではあるが、昨年度よりも地域との関わりを持つことが出来た。市報や回覧板などを活用し、地域の催しや出来事について会話を多く持つよう取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながら、地域との関わりを作っていくのは大変なことだと思う。文化祭やいきいきサロンへの講師派遣など今後も継続してほしい。 ・参加は難しくても昔の思い出や行事の話題を提供することで利用者の方の理解も進むと思う。 ・以前行っていた、100歳体操地域の方は待ち望んでいる方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、施設行事へ相互参加を通して、少しずつ交流を深めながら、地域の方にとって困り事を相談できる場や集いの場になれるように段階的な取り組みを行っていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も広報誌や施設ホームページなどを通して、地域の方に施設の取り組みや概要などを宣伝し、知って頂けるよう努めていく。 ・コロナ感染対策を継続しながら、季節行事や地域行事、少人数での外出などを企画・実施し社会との関りを持てるように支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやユニットのお便り等を通して、事業所の取り組みを発信することが出来たが、地域の方への発信は不十分であった。 ・少人数での季節行事や外出行事などを行い、感染対策を講じながら、地域に出向く機会を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を活用し、地域の高齢者に向けて、自宅でする運動や介護に関する情報発信などを通して関心を持ってもらうことも大切だと思う。文字の大きさや文章など分かり易い伝え方を心掛けてもらえるありがたい。 ・福祉介護サービスの住民の理解は、まだ十分とは言えない。いきいきサロンでの説明機会なども検討していきたいので協力をお願いしたい。 ・地域に出向くことにより、利用者と地域の顔が見えることで楽しみや親しみが生まれてくると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関りを大切にしながら、地域密着型施設として、地域の方への情報発信や地域貢献の意識を高め取り組んでいく。 ・地域に出向き、社会交流や行事・様々な活動などを通して、楽しみや親しみを覚えてもらえるように取り組んでいく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で事業所見学を行ったり、外部評価や運営推進会議についての説明する時間を設けていく。 ・地域の高齢者の生活状況などについて、会議内で情報の交換を図っていく。 ・いただいた提案や意見を大切に、運営に反映させながら質の高いサービスを目指していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で事業所の見学や外部評価の説明をする時間を設けたが、初めての委員方も多く、よりご理解やご協力をいただき易い方法を検討していく。 ・会議中の情報交換だけでなく、地域課題や高齢者の生活状況など地域福社会議等でも情報を共有することが出来た。 ・会議で頂いた意見や提案について、事業所の職員へ回覧・周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に目で見て肌で感じるのが施設を理解する近道だと思う。町内会長や福祉協力員は2年交代となっている。年度の1回目の会議前に見学するのがいいのではないか。 ・福祉協力員となり、初めてこのような会議をしていることが分かった。地域の方へ多くの情報共有をできればと思う。 ・事故報告の説明の時に類似した事例がある。根本原因まで「なぜ？」を繰り返して、対策することで減らしていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の際に、事業所内の見学や外部評価についての説明を重ね、委員の方に分かりやすく取り組んでいくだけのような工夫していく。 ・地域の高齢者の方の状況や情報について会議内で情報交換できる機会を継続していく。 ・事故に関しては、勉強会や研修、委員会活動を通して、リスクマネジメントについての意識と理解を深めていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との共同訓練や連携の仕方について検討を重ねながら、有事の備えを図っていく。 ・防災計画についての周知や回覧を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の参加を想定しての防災訓練のほか、地域の防災訓練にも参加させていただいた。 ・防災計画についての周知や回覧については実施できておらず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事の備えは地域との連携が大切であり、常時情報の共有が必要だと思う。地域の防災訓練に参加する事により、お互いの顔を知ることによって親しみや安心感が生まれる。有事の際に避難所に顔見知りがいる・いないで高齢者の安心感が違うと聞いた。 ・防災は訓練の積み重ねであり、職員は図上訓練などを活用し、まずは熟知することが大切。地域との合同訓練も継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については相互の連携や協力体制等について検討を重ねながら有事への備えを図っていく。 ・業務継続計画(BCP)に基づいた研修や勉強会、シュミレーションを通して職員の理解を深めていく。

